

貧交行

杜

甫

手翻雲作手覆雨

紛紛輕薄何ぞ數須

君見管鮑貧時文

此道今人棄土如

【作者】杜甫(七一二〜七七〇年)・盛唐の詩人。字は子美。居処によつて、少陵と号する。工部員外郎という官職から、工部と呼ぶ。晩唐の杜牧に

対して、老杜と呼ぶ。さらに後世、詩聖と称える。鞏県(現・河南省)の人。官に志すが容(い)れられず、安祿山の乱やその後の諸乱に遭つて、流浪の一生を送つた。そのため、詩風は時期によつて複雑な感情を込めた悲痛な社会描写のものになる。

【語釈】*貧交行：貧しい時代の交友の歌。 *紛紛：乱れ散るさま。混じり乱れるさま。 *輕薄：うわすべりで、真心がない。

*管鮑：春秋時代の管仲(かんちゆう)と鮑叔牙(ほうしゆく)のこと。

【通釈】手をひるがえせば雲となり、手をくつがえせば雨となる。(情況に合わせて、態度をころころと変える友人たちのさまを謂う。)入り乱れる数多くの輕薄なさまは、数える必要もない。ご存じでしょう、管仲と鮑叔牙の貧しい時代の交わりを。この交友の精神は、現在の人々は土く

【備考】◎管仲：齊の宰相。安徽省の人。親友鮑叔牙の勧めで桓公に仕え、齊を強国とした人物。

◎鮑叔牙：春秋時代の齊(せい)の政治家。齊の桓公に仕え、友人の管仲を宰相に推薦して、桓公の覇道を達成させた。